

## 8-5 歩行者回遊実態調査

歩行者回遊実態調査は、9 評価指標（中心部歩行者数（一人平均移動距離、滞在時間））の算出の際に必要なものである。

対象地域で歩行者の移動距離を把握する場合は、歩行者に走行経路を尋ねることが想定される。回答として得られた歩行経路より、歩行者の移動距離を把握する。

滞在時間を把握する場合は、中心部を訪れる歩行者に対して、中心部に到着した時刻と中心部を出発する時刻を尋ねることで算出する。

来街者アンケートのように、母集団の属性分布が事前に分からない調査は、調査結果を活用する際には、回収された調査票の属性の妥当性について留意する必要がある。

**秘 都心部歩行者回遊実態に関するヒアリング調査**

平成 14 年 月  
札幌市企画調整局総合交通対策部交通企画課

1. 本日の札幌都心部でのあなたの移動について伺います。

質問 1. 札幌都心部に来た主な目的に該当する番号をお答えください。（複数回答可）  
1. 通勤 2. 通学 3. 業務 4. 買い物 5. 外食・飲み会 6. 病院  
7. 娯楽・レジャー 8. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

質問 2. 上記の目的のために、どれくらいの頻度で都心に来ますか。  
1. ほぼ毎日 2. 週に1~2回程度 3. 月に1~2回程度 4. 2ヶ月に1回程度  
5. 年に数回 6. ほとんど来ない

質問 3. 都心に来る際に利用した主な交通手段に該当する番号をお答えください。（複数回答可）  
1. JR 2. 地下鉄 3. 路面電車 4. 路線バス 5. 自家用車（自分で運転）  
6. 自家用車（送迎） 7. タクシー 8. 自転車・自動二輪車 9. 徒歩（徒歩のみで来た場合）

質問 4. 同行した人は（自分以外）何人ですか。また、その中に小学生以下の方は含まれていますか。  
① 同行した人は（ ）人 ⇒ ② その中に小学生以下（ ）人

質問 5. 都心に到着したのは、何時何分頃ですか。（通勤・通学で都心（地図範囲）に来た方は、通勤・通学場所を離れた時間）  
午前・午後（ ）時（ ）分頃

質問 6. 都心部に到着してからこれまでに歩いて移動したルートと訪問場所を右の地図に記入してください（実際には調査員が聞きながら記入）。（到着：駐車場、駅、バス停を出たところ）

質問 7. 差し支えなければ、本日、都心部で買物や娯楽等で支払った金額をお答えください（同行者を含めて）  
（ ）円くらい

質問 8. これから、都心部（地図内）のどこかに立ち寄る予定はありますか。  
1. ある ⇒（具体的に \_\_\_\_\_） その場合、今からの何時間くらい都心部に滞在する予定ですか。（時間 分）  
2. ない

2. 最後に、あなたご自身について伺います。

質問 9. 性別は、 1. 男性 2. 女性  
質問 10. 年齢は、 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代  
7. 70歳以上  
質問 11. 職業は、 1. 公務員・会社員 2. 自営業 3. アルバイト・パート 4. 学生・生徒  
5. 主婦（専業） 6. 無職 7. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

質問 12. ご自宅の住所は 1. 札幌市 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 条 \_\_\_\_\_ 丁目（差し支えない範囲で）  
2. 札幌市以外（北海道内）  
3. 札幌市以外（北海道外）

ご協力有難うございました。

記入上の注意

- ① 地上部を歩行している区間は赤ペン、地下道や地下街を歩行している区間は青ペンで記入。
- ② 訪問した箇所は、大まかな位置に×印を付ける。
- ③ 気に入った場所は、大まかな位置に○印を付ける。
- ④ 気に入らなかった場所は、大まかな位置に□印を付ける。



**歩行経路を把握することで、歩行者の移動距離を算出することが可能**

**中心部での滞在時間を尋ねることで、歩行者の移動距離を算出することが可能**

調査員記入欄 1. 調査日時：（ ）月（ ）日 午前・午後（ ）時（ ）分 2. 調査地点番号：（ ）

図 8-9 歩行者回遊実態調査の例  
資料：札幌市、都心交通対策調査、平成 15 年